

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	戸沢氏祭実行委員会補助金					
担 当 課 係 名	観 光 課		観 光 係		作成者	赤坂知衡
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち				総合計画の ページ
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし				
	主要施策	テンミリオン計画の推進				29
予 算 費 目	一般 会計	7 款 商工費	1 項 商工費	3 目 観光費		
事 業 期 間	平成 年度 ～ 平成 年度		新規／継続の区分		継続	
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等	仙北市補助金等交付規則					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☒ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	仙北市民、地域の夏祭りとして毎年開催する。
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	イベントにより地域の活性化を図る。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	戸沢氏お家行列、盆踊り、芸能披露、川魚のつかみ捕り、花火大会など。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	観光客数	目標	人	9,000	9,000	9,000	
			実績	人	9,000	9,000	10,000	
			達成度	%	100.0%	100.0%	111.1%	
	成果指標	観光客数対前年比	目標	%	100.0	100.0	100.0	
			実績	%	112.5	100.0	111.1	
			達成度	%	112.5%	100.0%	111.1%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				2,000	2,000	2,000	
	人 件 費 (B)		—		1,571	1,614	3,963	
	職 員 数	—		0.20	0.20	0.50		
		職 員 平 均 人 件 費					7,853	8,071
	(A) + (B) 投下コスト				3,571	3,614	5,963	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				3,571	3,614	5,963
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		397	402	596
市民1人当たりのコスト(円)		—		112	115	192		

【事務事業の今までの成果】

西木町西明寺地区の祭りがなかったことから、14年前に創設したお祭りである。子どもからお年寄りまで一体となって楽しめるお祭りとして定着している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	雫石町戸沢集落の参加や東北・首都圏から行列に参加する人も出てきているため、少しずつ祭りの認知度が上がっていると思われる。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	西木地区の夏祭りとして定着していることから、今後も継続して実施。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	A 現状のまま継続（実施）	イベントがマンネリ化している傾向にある。内容等の見直しが必要である。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

花火大会は協賛金で運営しているため、年々協賛金が減ってきている。財源の在り方等について検討する必要がある。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	補助金を支出していることに加えて、実行委員会の経理を含めた事務の多くを観光課が担っている実態があることから、実行委員会の他の構成員との適正な役割分担を図る必要があります。これはイベント関係の事業費に共通の課題であり、抜本的な見直しが必要と考えます。事業内容や財源のあり方といった課題とあわせて改善に努め、地域の活性化に寄与できる事業となるよう支援していくべきと考えます。

一次評価診断図

